

ナシの作況について(7月20日分)

農技研果樹担当

1 生育状況等

- (1)「無処理幸水」満開後 90 日の肥大状況は平年と比べ- 2.9 日であったが、100 日では、- 3.0 日となり、果実肥大は停滞傾向。GA 処理幸水は満開後 90 日の平年比は- 2.3 日であったが 7 月中旬にまとまった降雨があり、100 日では- 0.8 日(推定値)となり、果実肥大はやや回復傾向である。
- (2)「豊水」の果実肥大はやや回復傾向。
- (3)「彩玉」の満開後 90 日における平年比は+2.4 日であったが、100 日では、+1.6 日となり、果実肥大はやや鈍化。他品種と比べ葉焼け症状、ハダニ類の発生が多い傾向。
- (4)「あきづき」の果実肥大は満開後 100 日で、平年比- 1.6 日となり、果実肥大は停滞傾向。軸折れやや多い。

2 病虫害の発生状況

一時期小康状態であったハダニ類の発生は気温の上昇とともに再び目立つようになった。本日殺ダニ剤を散布し、7 日から10日後に殺ダニ剤を散布する予定。その際、カメムシ類、シンクイムシ類の防除も合わせて行う。その後、ハダニ類が減少しないようであれば、気門封鎖剤を連用する予定。



ハダニ類多発箇所(落葉あり)

3 早生品種の収穫

「はつまる」の収穫はほぼ終了したが、「筑水」など極早生品種の収穫は今のところ始まらない。GA 幸水は満開後 90~100 日の間で 12 mm弱の肥大が測定される果実もあり、果皮色の判断から収穫始は当初の予測より2~3日遅れるものと推察している。